# インターンシップの成果発表

皆さん、こんにちは。北陸大学のインターン生金俊青と申します。今日は私がこの一ヶ月間、JASTでの研修結果について発表させていただきます。

まず、今日の発表の流れを説明します。1.これまでの研修内容2.生活について 3.今後の目標。それでは、１から順番に説明いたします。

1. これまでの研修内容

インターンシップ期間中は色々なことを勉強しました。会社に来て最初に会社の朝会に参加させていただきました。初めて会社の朝会というものを体験できました。その時に、会社にインターンシップに来たという実感を感じました。そした、部長さんにJASTの人気商品GAKUENシステムを紹介してもらいました。そこで、このシステムは学校にとって不可欠なものだと思います。

そして、私達が大学時代に使っていた学園支援システムの元となるUNIPAシステムを紹介してもらいました。これはとても興味深がったです。なんの関係もないシステムを勉強するより、いつも使ってるシステムを勉強ほうが興味をそそられて楽しかったです。普段使っている機能がどんなふうにプログラムされているのか、私達の出席や成績などがどんなふうに管理されているのか、これらを学ぶのはとても楽しかったです。

あと、アルゴリズムや単体テストなどの勉強もしました。これらは以前学んだ内容もあれば全く新しい内容もありました、色々なものに触れることでいい勉強をさせてもらいました。

最後に私が一番自分ためになったこと紹介します。それは、社会人マナーに関することです。私たちは外国人ですから、日本のマナーに詳しくありません。日本はマナーを何よりも重んじる国です、特に社会人となったのなら周りの同僚や上司、取引相手などと話す会が増えます。その時にマナーを怠ると相手の反感を買うことがあります、取引などで失敗する可能性が高くなります。私は将来日本で就職するつもりです。そのためには、実際の会社ではどのようなことが問題になるのかを知るのが一番です。学校で教えるマナーではどうしてもわからない細かいところがあります。ジョウさんにそのようなところを聞けてとてもためになりました。ありがとうございました。

1. 生活について

私たちはインターンシップ中会社の寮で生活しました。はじめは少し慣れなくて、自室にシャワールームや冷蔵庫がないのが難点でしたが、だんだんこの生活も慣れてきました。朝みんなと一緒に出社して、会社で一日勉強して、夜はみんなで外で晩ごはんを食べて帰りました。インターンシップ生は私達六人の他にタイからのインターン生も三人います。彼らと一緒飲みにも行きました。そして、彼らは私たちに料理を振る舞ってくれました。聞くと初めて作ったものだそうです。彼らは辛いものが好きだと聞き私たちは手料理のお返しに中国の食べ物麻辣湯をご馳走しました。はじめに来た時は戸惑いましたが気づけばあっという間に一ヶ月が過ぎました。この一ヶ月間とてもいい思いてが作れました。

1. 今後の目標

日本の会社で一ヶ月間の研修は今後の就職にとってとても大切な経験だと思います。今後どのようになるのかはわかりませんが、私は日本の会社に就職したいと思います。今回のインターンシップの経験を活かし今後も頑張って行きたいと思います。

最後に、インターンシップ中会社の方々にご支援いただき、ありがとうございました。色々と迷惑をお掛けしたと思いますが最後まで私たちに付き合っていただきまして、誠にありがとうございます。

以上で私の発表を終わらせたく思います。